

国語(第3回)

		得点率 (%)
1 説明文	問一	33.0
	問二	54.9
	問三	19.3
	問四	34.7
	問五	0.5
	問六	98.5
	問七	51.6
	問八	66.4
2 物語文	問一	55.2
	問二	33.8
	問三	94.9
	問四	83.9
	問五	48.1
	問六	49.7
	問七	98.6
	問八	73.5

合格者最高点 83
合格者最低点 48

1 出典：高田明典『コミュニケーションを学ぶ』

問一 設問は傍線（１）「調停者を作る」という箇所に関して、本文中の「調停者」の役割とはどのようなものかを聞いています。冒頭の３行で調停者が必要となる状況が説明されているので、この部分を用いて解答を作成することになります。「第三者」、「合意」といった解答の中心となる部分を用いていない答案が多く、得点率は 33%で差のついた問題と言えます。

問二 傍線（２）の「少しの練習」という箇所に関して、その「練習」の具体的な内容を問う問題でした。直後に続く文章を接続詞に着目して読んでいけば、「まず自分の言動を可能な限り言語化していく」、「次に、『感情』や『自分の状態』について言語化していく」、「次に、自分を『三人称』で呼ぶ練習をしてみましょう。」という三要素が容易に見つかるはずです。しかしながらこの三点すべてが揃っている答案は意外にも少なく、また、誤字・脱字・読点の不備など、表現上の減点をされる答案が多数見られ、問一同様差のついた問題となりました。

- 問三 傍線（３）「言語化」と同じことを言っている部分を本文中から十字以内で抜き出す問題でした。24 行目の「簡単に言うと」以降で「言語化」が言い換えられていることに気付いていない受験生が多く、正解の「内心でつぶやくこと」が抜き出せた生徒は 20%弱に留まりました。誤答例としては、「推測に基づいた言語化」、「自分を客観的に見る」などがありました。
- 問四 傍線（４）に関連し、「自己」とのあいだで十分な合意や了解を得る、とはどういうことなのかを聞いています。傍線（４）以降に、自己との合意や了解が得られていない場合に陥ることが説明されており、49 行目以降にもその具体例としてレストランでの例が紹介されています。つまり、49 行目の「自分の思考や感情のことをよく知りません。」ということが合意や了解を得ていない、ということと同じですので、この部分を用いて、正解は「自分の思考や感情を理解すること。」といった内容になります。二十字以内という字数制限のためか、「了解」、「合意」といった傍線部の言葉をそのまま用いてしまう答案が少なくなく、正答率は 35%弱に留まりました。
- 問五 語句問題です。空欄の直前に「車の」とあること、また、空欄の直後に「どちらがかけてもうまくいきません。」とあることから、正解は「両輪」となりますが、ほとんどの答案が「車輪」というもので、極めて低い得点率となってしまいました。
- 問六 平易な語句・表現の問題です。非常によくできていました。
- 問七 平易な漢字の問題です。最も出来が悪かったの（エ）の「起因」は「危因」という誤答が多く、全体的に漢字のため、はねが未熟な答案が散見され、得点率は 50%と伸び悩みました。
- 問八 内容合致の問題です。73 行目以降のまとめの部分で自己と他者、その双方とのコミュニケーションがともに大切であるということが述べられていますので、正解はイとなります。アの、自己とのコミュニケーションと他者とのコミュニケーションを理解する順番に関しては本文では述べられていません。ウとエは、それぞれ最後の部分の「多くの人は既に行っている」、「強い個性と意志を持つ必要がある」という記述が本文にはありません。よくできていました。

- 問一 傍線（１）「同時にムツとした」とあり、デンさんの娘と美楽がそう思った理由を聞いています。２人が「ムツと」した直接の原因は、直前のデンさんの発言そのものによるものであるため、アの「娘さんに対して普通に会話するゲンさん」や、ウの「この状況」に対しての感情ではありませんし、エのように、美楽が自分自身に対して抱いた感情でもありません。よって正解はイとなります。正答率は 55%ほどに留まりました。
- 問二 傍線（２）「空振りです。」と美楽がこの語句で表現している内容を具体的に問う問題でした。解答の中心は「デンさんにチョコレートを渡すことが出来なかった」という内容になり、その部分をより詳しく説明していくこととなります。チョコレートをデンさんにあげることができなかった原因は、21 行目の「わたしは笑う。ぎこちなく。」とあるように、娘さんを見て気おくれしてしまったことが読み取れ、また、4 行目の「いつになく緊張していた。」、30 行目の「それほど緊張してたのに、」などから、美楽がデンさんただ一人にチョコレートをあげるのだと、緊張していた、意気込んでいた、という内容を付け加えることが出来れば正解となります。全体的に文意が不明瞭なものが多く、正答率は 34%弱と、差のつく問題となりました。
- 問三 傍線（３）「無理に笑った」美楽がこのような行動をとったときの様子、またそうした理由を問う問題でした。正解はイとなります。非常によくできていました。
- 問四 平易な慣用句の問題です。よくできていました。
- 問五 平易な語句の問題です。問題文にあるように、この空欄には「いつわっていない」と言う意味の字が入りますので、答えは「本心」、つまり「本」という一文字が正解となります。誤答としては「真」、「実」などがあり、得点率は 50%弱と意外にも伸び悩みました。
- 問六 傍線部（６）「ごめんな、山田。ありがとう、山田」と言ったときの美楽の気持ちを考える問題です。「ごめんな」という言葉と「ありがとう」という言葉から、山田に対する謝罪の気持ちと感謝の気持ちが解答の中心となります。感謝の気持ちはよくできていました。謝罪の気持ちは、162 行目の「ごめん、山田。」をてがかりに、その直後の「それをわたしは、やっぱりデンさんにいちばん最初にいいたいのだ。」という部分から、ベンチを作ることを伝える際、山田よりもデンさんを優先してしまう自分の気持ち、つまり、山田の想いに応えられていないことに対する申し訳なさを読み取る必要があったのですが、うまく説明されていなかった答案が散見されました。その結果、部分点しか獲得できない答案が多数出現したため、得点率が 50%を下回ったのだと言えます。

問七 平易な語句・表現の問題です。28行目の **A** は、シルバーグレーの車が光っている様子を表す、エの「ぴかぴか」、37行目の **B** は、ぶら下げている様子を表す、ウの「ぷらぷら」、73行目の **C** は、興味深く見つめている様子を表す、イの「しげしげ」、146行目の **D** は、熱心に見つめる様子を表す、アの「きらきら」が、それぞれ正解となります。非常によくできていました。

問八 内容合致の問題です。157行目からわかるように、エが正解となります。アは後半の「それによって建物の外の車にいたのはデンさんの元奥さんだということに気づいた。」が誤り。イは前半の「山田の祖母は美楽を見てすぐには誰だかわからなかった」が誤り。ウは後半の「山田の妹であればもっと素直に振舞わなければいけないと常に気にしていた。」が誤りです。よくできていました。